

TOEIC L&Rテストに登場する 動詞と名詞に関する考察

藤 森 吉 之¹

1 はじめに

英語コミュニケーション能力測定を目的としたTOEICテストは、大学における単位認定や教育効果測定、また大学生を採用する企業が応募者の英語力の指標にするなど多様な目的で利用されている。こうした背景もあってTOEICテストを受験する大学生の数は非常に多い。国際ビジネスコミュニケーション協会の「TOEIC Program Data & Analysis 2017」によると、2016年にTOEICテストのIPテストを受験した大学生は430,372名（2017：9）、公開テストを受験した大学生の数は313,764名（2017：6）と公表されており、合計すると744,136名となる。この大学生受験者総数を、2016年度の大学生総数2,556,062名（文部科学省，1）を分母として試算すると約29.0%となる。つまり、単純計算にはなるが、2016年には大学生の約3人に1人はTOEICテストを受験したということになる。

これだけ高い割合で大学生がTOEICテストを受験しているため、多くの大学でTOEICテスト対策授業が開講されている状況も想像に難くない。TOEICテスト対策授業を担当する際、教員がテストの出題傾向を把握しておくことは教育効果を高めるために不可欠な要素である。とはいえ、筆者を含め多くの大学教員はTOEICテストの専門家ではない。もちろん、

¹ 日本大学商学部
e-mail : fujimori.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp

TOEICテスト作成元であるEducational Testing Service（以下ETSとする）やTOEICテストを専門とする研究者が作成した教材等で知識を吸収したり、実際にTOEICテストを受験したりすることで一定程度出題傾向をつかむことはできるだろう。とはいえTOEICテスト自体、時代とともに変化する英語コミュニケーション方法に対応する目的でその出題形式を変更したり（ETS：2016b）パート毎の出題数を変更したりしていることもあり、常に最新の傾向を捉えておくためには時間と労力が求められる。

筆者もTOEICテストの作成母体であるETSが2015年に発行した『TOEICテスト公式問題で学ぶボキャブラリー』（以下『公式ボキャブラリー』とする）でどのような単語が頻出するのかという傾向把握を試みたことがある。この本は、7つのパートから構成されるTOEICテストのうち、パート3、4、5、7についてパート毎に問題が提示され、そこに出現した語句を学ぶことができるようになっていたが、パート1、2、6についてはパート毎に整理されていなかった。それでも、出現頻度が高い語句は「覚えておきたい語句200」として品詞別に紹介してあったため、動詞と名詞の2つの品詞について、『TOEICテスト基本例文700選』（以下『基本例文700選』とする）パート1、2、6の「最重要語句リスト」（基本例文700選制作委員会：30）と比較を行った。この作業をした理由は、『公式ボキャブラリー』の「覚えておきたい語句200」に出現する単語が『基本例文700選』の「最重要語句リスト」を、どの程度カバーできているか確認し、「覚えておきたい語句200」がこれら3つのパートの頻出語句を学習するため十分と言えるかどうかを判断するためであった。（本研究はパート1に限定したものであるため、ここでもパート1のみの結果について記すことにとどめることにする。）『公式ボキャブラリー』の「覚えておきたい語句200」に出現した動詞は83語、名詞が76語であった。これらのうちで、『基本例文700選』の「最重要語句リスト」で出現した動詞28語の動詞と36語の名詞をカバーしていたのは、動詞がわずか4語（arrange、operate、adjust、install）、名詞もわずか4語（line、item、passenger、equipment）のみであっ

た。カバー率を算出すると、動詞が14.3%、名詞が11.1%である。『基本例文700選』は、監修者の前田をはじめ、それまでのTOEIC受験回数が述べ923回というTOEICテストのエキスパート38名が著した本である（基本例文700選制作委員会、4）。それゆえ、その「最重要語句リスト」は一定の信頼性が担保されていると考えている。動詞、名詞とも10%台というカバー率の低さから言えることは、『公式ボキャブラリー』の「覚えておきたい語句200」を振り所としてパート1に出現する動詞と名詞を学習するだけでは、その部分の語彙対策としては十分でないということである。このように、TOEICテストの作成母体であるETSが発行する書籍であっても、その一部分を限定的に参照した場合、本来の出題傾向の一部しか把握できないということをその時学んだのである。

このように、出題傾向の把握が容易でないとすると、TOEICテストが自身の研究対象でない場合、その対策授業に自信の持てる教員の比率は高くないはずである。筆者もその一人である。複数年にわたりTOEIC対策授業を担当しているので、一定レベルの傾向把握はできているつもりであるが、こうした試験対策で使用する教科書の選定にしても改善の余地があると感じている。筆者は教科書を選定する際に、McDonoughら（2013）が提唱している2段階の評価—external evaluationとinternal evaluation—を行っている。複数冊の見本教材を出版社から送付してもらった後、第1段階の評価として、教科書の目次や使い方、また特徴が述べられている部分を概観し、授業の目的や自分の授業の進め方等との整合性が取れているかを確認する。その後、採択の候補を1-2冊に絞り込み、候補に残った教科書について評価の第2段階となるinternal evaluationを行っている。この段階では、実際に最初の1-2章を自分で使用したり指導案の作成等を行ったりして、第1段階で評価の基準とした特徴が本当に活かせる内容になっているかを確認するようにしている。しかし、TOEICテスト対策の教科書選定で、教科書に登場する語彙について、そのレベルや頻度を詳細に分析した経験はなかった。英検のように級別に問題が作成されるテスト

の場合、その語彙レベルは受験者の習熟度に合わせて調整されている。しかし、TOEICテストは、受験者のレベルごとに問題作成がされているテストではない。多くの日本人英語学習者が弱点とする生活関連語句が多く出現し、さらに大学入学前には学習する機会の少ないビジネスシーンで使用される語句も多く含まれている。そのため、日本の標準的レベルの大学生にとっては出現する語彙が難しいテストと言えよう。それゆえ、教科書に出現する語彙は実際のテストに頻出する単語を多く含んでいることが望ましい。対策授業で使用する教科書を受講者の語彙力向上につなげるためにも、経験と勘に依存することなく、客観的データに基づくTOEICテストに頻出する語句の把握が重要であると考えたのである。これが本研究の第1の動機である。

第2の動機は、筆者のTOEIC対策授業を受講した学生が、設問に正しく解答できない原因の多くが語彙の乏しさに起因していたことに関連している。筆者の指導対象になる大学生の多くは、TOEICスコアが200点台から400点台の場合が多く、彼らの語彙力は高いとは言えない。ETSがTOEICテストスコアによって5つに区分しているレベルで言えば、470点未満のDレベルの学習者を指導することが多く、時には220点を境界線とした下側のEレベルの学習者のクラスを担当することもある。Eレベルの学習者の中には、中学校で学習してきた基本単語についての知識もあやふやであることも珍しくない。また、ほぼ毎年経験することであるが、単語の多義性は無頓着な学生が非常に多いこともTOEIC対策授業において語彙指導に時間をかけなければならないと感じる大きな理由である。1単語に1つの訳語を暗記したことで安心してしまうのか、別の語義を知らずに誤訳してしまい、その結果正解にたどり着けない受講生を何人も見てきた。この傾向はEレベルやDレベルの学生にとどまらず、470点以上のCレベルの学生の多くにも共通する特徴であると筆者は感じている。2つほどこうした例を挙げてみる。

(事例1) ETSが発行する『新公式問題集 vol.5』をTOEIC対策授業の

教科書として使用した際、テスト2のパート3とパート7の設問文中にそれぞれ3回と4回、計7回suggestという動詞が出現した(ETS, 2012)。その時の受講生の大多数は「提案する」という訳語を7つすべてに当てはめて解釈したのだが、パート7の4回はすべて「示唆する、ほのめかす」という意味であったため、こちらのパートに関しては設問文すら理解できない状況が起きている状態であった。複数の意味を持つ単語が、最初に学習した時と異なる意味で使われる場面に遭遇しなかったことも原因として考えられる。筆者の指導してきた大学生の大多数が多義語を苦手としており、こうした誤りを犯す学習者の割合が高いことは想定の内であった。そうは言っても、1回のテストの設問文のみでも7回という高頻度で出現した動詞で、4回も誤訳をする事で設問を曲解してしまう状況は学習者に大きな不利益をもたらしてしまうため、TOEICテストで頻繁に登場する多義語については十分な指導がなされる必要があると感じている。

(事例2) これも多義性に関連しているが、一見易しそうな名詞に見える単語が動詞として使用された時に誤解が起りやすいことに対しても対策を講じる必要があるようである。『新公式問題集 vol. 5』では、パート1の写真描写問題の選択肢80英文のうち、9つの文中でshade、place、line (2回)、park、position、seat、wheel、faceという単語が動詞として使われていた。parkは「公園」という名詞の意味を学習しても「パーキング」などカタカナで出会うことも多いため、「駐車する」という意味の動詞としての訳出は大学生にとっては難しくはないだろう。しかし、それ以外の単語は、名詞としての訳を知っていたとしても、動詞として使われた場合瞬時に理解できない大学生は多く存在しているのである。これらの中でおそらく一番解釈に戸惑うのはwheelという動詞であろう。『大学英語教育学会基本語リストに基づくJACET8000英単語』(以下『JACET8000英単語』)でその順位番号を確認すると1719であった。名詞としては載っている一方、動詞としても使えるという情報すら記載されていなかった。この単語のように、名詞としては理解可能でも、動詞として使われる場面

経験していない学習者は、瞬時に単語の意味を正しく推測することはほぼ不可能であろう。それゆえ、複数の新公式問題集の例文を調査し、同じ綴りの名詞が動詞として使われているパターンを抽出し指導することは受講者の利益につながると考えたのである。

語彙に焦点を当ててTOEICテストの出題傾向を探りたいと思った理由をもう1つだけ記述させてもらう。これも、『新公式問題集vol.5を』教科書として使用した際のことになるが、パート1の写真描写問題で選択肢中にpileという動詞が登場した。受講していた学生にとってやや難解であろうと思ったため、解説の段階でこの単語の意味を知っていたか否かを質問してみた。また、同じ設問の別の選択肢に、pileと意味的に類似のstackが登場していたので、後者の単語についても日本語訳を知っているか尋ねた。いずれの単語についても意味を知っている受講者は存在しなかった。『JACET8000英単語』でこれらの順位番号を確認すると、pileは1980、stackは3980とそれぞれレベル2（累積2000語レベル）とレベル4（累積4000語レベル）であった。後者の動詞については、そのレベルからわかるように、語彙力に自信のない大学生が意味を知らないことは驚くにあたらない。しかし、両単語とも前出の『基本例文700選』では「最重要語句リスト」に含まれており、TOEICテストでは頻出する動詞と言えよう。大学入学後に初めてTOEICテストの対策を始める学生が大半を占める中、頻出語であるからといって学生が意味を知っていることにはもちろんならない。だからこそ、指導を担当する教員が頻出語をきちんと把握しておくことが重要となるのである。数多く出版されている書籍やインターネット上のサイトでもTOEICテストの頻出語は紹介されているが、その信頼性は簡単に保証されない。こうした背景から、自分でデータを収集し、それに基づいて頻出語彙リストを作成し、教科書での扱いがない場合には補充指導ができるように、また、出現頻度が低い場合や学習者にとって習得済みと思われる単語は割愛して指導ができることが授業時間の有効活用につながると思ったことも本調査を行うことにした別な理由である。

2 研究の範囲

本研究での調査範囲は、7つのパートから構成されるTOEICテストのパート1（写真描写問題）に限定する。このパートは、問題冊子に印刷されている写真の描写として聞こえてくる4つの英文のうちもっとも適当と思われる1つを選び解答する問題である。今回の調査では、このパートに出現した名詞と動詞に焦点をあて、カバー率の算出や語句の出現頻度の確認、並びに『JACET8000英単語』に基づくレベル照合等を行っていく。また、本研究では、TOEIC Speaking & Writingテストを調査対象に含んでいない。そのため、登場する「TOEICテスト」という表現はTOEIC Listening & Readingテストのみを指していることをここで記しておく。

3 研究の前提

ETS（2000：3）には、TOEICテストは評価基準を一定に保つために、テスト問題を非公開にしていると記述されている。そのため、各種TOEIC対策教材に登場する語句が、実際のTOEICテストで使用される語句とどの程度重複しているかを正確に把握することは厳密には不可能と言える。しかし、ETSは、過去に実施されたテスト問題の一部を公開し『公式問題集』を発行することにしたとも記述している（2000：3）。さらに『新公式問題集』には、練習テストを実際のTOEICテスト同様に120分で解答することで参考スコア範囲が算出可能と記されている（ETS, 2005, 2007, 2008, 2009, 2012, 2014）。算出される参考スコアも10点から990点という実際のTOEICテストと同じことから、新公式問題集の練習問題は、出題傾向、問題難易度、使用される語句等が実際のTOEICテストを忠実に反映しているとみなして本研究を行うこととする。

4 研究の材料

- ① Longman Preparation Series for the TOEIC Test : Listening and Reading, Intermediate Course. 5th edition（以下『ロングマン』とする）

- ② TOEICテスト新公式問題集[6冊] (以下『新公式問題集vol.1-6』とする)
 - (1) TOEICテスト新公式問題集 (以下『新公式問題集vol.1』とする)
 - (2) TOEICテスト新公式問題集vol.2 (以下『新公式問題集vol.2』とする)
 - (3) TOEICテスト新公式問題集vol.3 (以下『新公式問題集vol.3』とする)
 - (4) TOEICテスト新公式問題集vol.4 (以下『新公式問題集vol.4』とする)
 - (5) TOEICテスト新公式問題集vol.5 (以下『新公式問題集vol.5』とする)
 - (6) TOEICテスト新公式問題集vol.6 (以下『新公式問題集vol.6』とする)
- ③ TOEICテスト公式問題で学ぶボキャブラリー (= 『公式ボキャブラリー』)
- ④ TOEICテスト基本例文700選 (= 『基本例文700選』)
- ⑤ 大学英語教育学会基本語リストに基づくJACET8000英単語 (= 『JACET8000英単語』)

5 研究の目的

- ① 『新公式問題集vol.1-6』のパート1に出現した動詞と名詞を抽出し、TOEICテストの当該パートに出現する可能性の高い語彙リストを作成すること。
- ② 抽出した動詞と名詞の出現頻度を調査し、高頻度での出現する語をさらに限定すること。
- ③ 上記①で抽出した動詞と名詞を『JACET8000英単語』の順位番号と照合することで、TOEICテストパート1で出現する可能性の高い語のレベル的な特徴を把握すること。
- ④ 『ロングマン』に出現した動詞と名詞が、『新公式問題集vol.1-6』に出現した動詞と名詞をどの程度カバーしているか把握すること。
- ⑤ 『ロングマン』が『新公式問題集vol.1-6』をカバーしなかった動詞と名詞を抽出して、『ロングマン』を教科書として指導する際に補完した方が良いと思われる語彙のリストを作成すること。

- ⑥『新公式問題集vol.1－6』には出現せず『ロングマン』には出現した動詞と名詞を抽出して、『ロングマン』を教科書として指導する際に割愛できる可能性の高い語彙のリストを作成すること。
- ⑦『新公式問題集vol.1－6』と『ロングマン』に出現した動詞と名詞について問題傾向の把握に活かせるような特徴を発見すること。

6 研究の方法

(1)『新公式問題集vol.1－6』の練習テスト1と2に含まれるパート1(写真描写問題)の480英文を、付属する解答・解説編のトランスクリプトを参照し、問題番号順にエクセルファイルに入力して(表1)を作成する。

(2)『ロングマン』のパート1対策部分(pp.2－32)に出現する271英文とプラクティステスト1、2、3のパート1対策部分に出現する160英文の合計、431英文を、付属のCD-ROMに含まれているトランスクリプトを参照し、問題番号順にエクセルファイルに入力し(表2)を作成する。

(3)(表1)に登場したすべての英文から動詞を抽出し、問題番号順のままエクセルファイルに入力し(表3 a)を作成する。

(4)(表3 a)の動詞をアルファベット順に並べ替えた後、それぞれの動詞の出現頻度をまとめ(表3 b)を作成する。

(5)『JACET8000英単語』を参照し、(表3 b)の動詞にJACET順位番号(1-8000)を追加し、その順位番号順に並べ替える。その後、JACET順位番号が1-1000の単語には網掛けをせず、1001-2000の単語には薄い網掛けを、2001-3000の単語にはやや濃い網掛けを、3001-8000の単語と『JACET8000英単語』には出現しなかった単語には濃い網掛けを施し、(表3 c)を作成する。

(6)(表3 c)の動詞を出現頻度順に並べ替え、出現頻度に応じて背景を塗る。出現頻度が5回以上の単語には網掛けをせず、4－2回の単語には薄い網掛けを、1回の単語には濃い網掛けを施し(表3 d)を作成する。

(7) (表 2) に登場したすべての英文から動詞を抽出し、問題番号順のままエクセルファイルに入力し (表 4 a) を作成する。

(8) (表 4 a) の動詞をアルファベット順に並べ替えた後、それぞれの動詞の出現頻度をまとめ (表 4 b) を作成する。

(9) 『JACET8000英単語』を参照し、(表 4 b) の動詞に出現頻度に JACET8000 リスト番号を追加する。その後、JACET 順位番号が 1-1000 の単語には網掛けをせず、1001-2000 の単語には薄い網掛けを、2001-3000 の単語にはやや濃い網掛けを、3001-8000 の単語と『JACET8000英単語』には出現しなかった単語には濃い網掛けを施し、(表 4 c) を作成する。

(10) (表 4 c) の動詞の出現頻度順に並べ替え、出現頻度に応じて背景を塗る。出現頻度が 5 回以上の単語には網掛けをせず、4 - 2 回の単語には薄い網掛けを、1 回の単語には濃い網掛けを施し (表 4 d) を作成する。

(11) (表 1) に登場したすべての英文から名詞を抽出し、問題番号順のままエクセルファイルに入力し (表 5 a) を作成する。

(12) (表 5 a) の名詞をアルファベット順に並べ替えた後、それぞれの名詞の出現頻度をまとめエクセルファイルに入力し (表 5 b) を作成する。

(13) 『JACET8000英単語』を参照し、(表 5 b) の名詞に JACET 順位番号 (1-8000) を追加し、その順位番号順に並べ替える。その後、JACET 順位番号が 1-1000 の単語には網掛けをせず、1001-2000 の単語には薄い網掛けを、2001-3000 の単語にはやや濃い網掛けを、3001-8000 の単語と『JACET8000英単語』には出現しなかった単語には濃い網掛けを施し、(表 5 c) を作成する。

(14) (表 5 c) の名詞を出現頻度順に並べ替え、出現頻度に応じて背景を塗る。出現頻度が 5 回以上の単語には網掛けをせず、4 - 2 回の単語には薄い網掛けを、1 回の単語には濃い網掛けを施し (表 5 d) を作成する。

(15) (表 2) に登場したすべての英文から名詞を抽出し、問題番号順のまま (表 6 a) を作成する。

(16) (表 6 a) の名詞をアルファベット順に並べ替えた後、それぞれの

名詞の出現頻度をまとめ（表 6 b）を作成する。

(17) 『JACET8000英単語』を参照し、(表 6 b) の名詞にJACET順位番号(1-8000)を追加し、その順位番号順に並べ替える。その後、JACET順位番号が1-1000の単語には網掛けをせず、1001-2000の単語には薄い網掛けを、2001-3000の単語にはやや濃い網掛けを、3001-8000の単語と『JACET8000英単語』には出現しなかった単語には濃い網掛けを施し、(表 6 c)を作成する。

(18) (表 6 c) の名詞を出現頻度順に並べ替え、出現頻度に応じて背景を塗る。出現頻度が5回以上の単語には網掛けをせず、4-2回の単語には薄い網掛けを、1回の単語には濃い網掛けを施し(表 6 d)を作成する。

(19) (表 3 d) で『ロングマン』と重複して出現した動詞に網掛けを追加し、(表 3)を作成する。

(20) (表 4 d) で『新公式問題集vol.1-6』と重複して出現した動詞に網掛けを追加し、(表 4)を作成する。

(21) (表 5 d) で『ロングマン』と重複して出現した名詞に網掛けを追加し、(表 5)を作成する。

(22) (表 6 d) で『新公式問題集vol.1-6』と重複して出現した名詞に網掛けを追加し、(表 6)を作成する。

(23) (表 3) で網掛けを施した動詞(=『新公式問題集vol.1-6』と『ロングマン』に重複して登場した動詞)のみを抽出する。それぞれの出現頻度とともにJACET8000順位番号を付け、『新公式問題集vol.1-6』の出現頻度順に並べ替え(表 7)を作成する。

(24) (表 5) で網掛けを施した名詞(=『新公式問題集vol.1-6』と『ロングマン』に重複して登場した名詞)のみを抽出する。それぞれの出現頻度とともにJACET8000順位番号を付け、『新公式問題集vol.1-6』の出現頻度順に並べ替え(表 8)を作成する。

(25) 『新公式問題集vol.1-6』には出現し、『ロングマン』には出現しなかった動詞を(表 3)からすべて抽出し、『新公式問題集vol.1-6』の

出現頻度順に並べ替え（表9）を作成する。

(26) 『新公式問題集vol.1-6』には出現し、『ロングマン』には出現しなかった名詞を（表5）からすべて抽出し、『新公式問題集vol.1-6』の出現頻度順に並べ替え（表10）を作成する。

(27) 『公式ボキャブラリー』の覚えておきたい語句200に出現した動詞83語にJACET順位番号を付け、『新公式問題集vol.1-6』に重複して出現した動詞に網掛けを施し（表11）を作成する。

(28) 『公式ボキャブラリー』の覚えておきたい語句200に出現した名詞76語にJACET順位番号を付け、『新公式問題集vol.1-6』に重複して出現した名詞に網掛けを施し（表12）を作成する。

(29) 『基本例文700選』のパート1最重要語句リストに出現した動詞28語にJACET順位番号を付け、『新公式問題集vol.1-6』に重複して出現した動詞に網掛けを施し（表13）を作成する。

(30) 『基本例文700選』のパート1最重要語句リストに出現した名詞36語にJACET順位番号を付け、『新公式問題集vol.1-6』に重複して出現した名詞に網掛けを施し（表14）を作成する。

(31) （表7）を利用して、『ロングマン』が『新公式問題集vol.1-6』に出現した動詞をどの程度カバーしているか算出する。その後、（表7）と（表9）を利用して、両方に重複した動詞、『新公式問題集vol.1-6』のみに出現した動詞について分析と考察を行う。

(32) （表8）を利用して、『ロングマン』が『新公式問題集vol.1-6』に出現した名詞をどの程度カバーしているか算出する。その後、（表8）と（表10）を利用して、両方に重複した名詞、『新公式問題集vol.1-6』のみに出現した名詞について分析と考察を行う。

(33) （表11）を利用して、『公式ボキャブラリー』に出現した動詞が『新公式問題集vol.1-6』をどの程度カバーしているか算出する。その後、両方に出現した動詞、『新公式問題集vol.1-6』のみに出現した動詞について分析と考察を行う。

(34) (表12)を利用して、『公式ボキャブラリー』に出現した名詞が『新公式問題集vol.1-6』をどの程度カバーしているか算出する。その後、両方に出現した名詞、『新公式問題集vol.1-6』のみに出現した名詞について分析と考察を行う。

(35) (表13)を利用して、『基本例文700選』に出現した動詞が『新公式問題集vol.1-6』をどの程度カバーしているか算出する。その後、両方に出現した動詞、『新公式問題集vol.1-6』のみに出現した動詞について分析と考察を行う。

(36) (表14)を利用して、『基本例文700選』に出現した名詞が『新公式問題集vol.1-6』をどの程度カバーしているか算出する。その後、両方に出現した名詞、『新公式問題集vol.1-6』のみに出現した名詞について分析と考察を行う。

(注1) 上記手順で表を作成する際、動詞の現在完了形has been leftはleaveに、現在進行形のis loadingはloadに、主語が三人称で単数の場合の現在形putsはputにというように基本形にまとめてから入力する。英文中に準動詞が出現する場合、これらも動詞と同様に扱う。ただし、述語動詞にbe動詞が使われている場合は、分析のため次の6種類に分類し入力する。

- ① be adj. : (第2文型で補語が形容詞の場合)
- ② be adv. : (第1文型で動詞の後ろに副詞／副詞句が続く場合)
- ③ be n. : (第2文型で補語が名詞の場合)
- ④ be there : (thereで始まる存在を表す文中に登場する場合)
- ⑤ be there S -ed : (S be -edと同様の内容を表す文中に登場する場合)
- ⑥ be there S -ing : (S be -ingと同様の内容を表す文中に登場する場合)

(注2) 上記手順で表を作成する際、複数形のbooksはbookにというよう

に基本形にまとめてから入力する。ただし、『JACET8000英単語』で基本形に集約されていない名詞（例えばcloth, clothes, clothing）は、それぞれを異なり語として扱う。

（注3）語彙レベル参照のため使用した『JACET8000英単語』は、動詞としても名詞としても同一の綴りであるboardのような単語について区別して順位番号をつけていない。それゆえ、本研究においても、動詞として出現したboardであっても名詞として登場したboardであってもJACET順位番号は同一の数字で統一する。

7 結果と考察

7.0（結果分析の前に）

結果を考察するに先立って、頻度を3種類に、『JACET8000英単語』レベルを4種類に区分した。その理由をここで説明しておく。

まずは頻度についてであるが、5回以上出現した単語、4-2回出現した単語、1回のみ出現した単語の3種とした。本研究で調査対象としたTOEIC L&Rテストパート1の写真描写問題は、写真の描写として最も適当な英文を4つのうちから1つ選択する多肢選択問題である。5回以上出現したということは、単純計算で少なくとも2問以上で出現しなければならないことになる。1問中の選択肢4つすべてに同一の動詞が使われたとしても、別の1問の選択肢1つに出現せねばならない回数である。それゆえ、先ほどのような条件でも最低2問以上で出現する単語として、①出現可能性が極めて高いと思われる単語とした。4-2回出現した動詞は、少なくとも複数回出現している。このことからやや高い頻度で出現する単語と捉えて②出現可能性が高いと思われる単語とした。そして、最後に出現回数が1回のみ動詞を③出現可能性が低くないと思われる単語とした。

次にJACET8000リストを4つに区分した理由を記す。現行の学習指導要領では、中学校と高等学校ではそれぞれ1200語、1800語の単語を学んでいる。『JACET8000英単語』と中高で学ぶ3000語の選定基準が異なるの

で、以下のような判断を下すことはもちろん適切ではないが、大学に進学してくる学生がこれらの『JACET8000英単語』の3000語を習得できると仮定するした場合、TOEICテスト対策の授業で3000語レベル以下の語彙指導は特に必要ないということになる。語彙の補完指導が特に必要なさそうなこうした大学生を指導する場合を想定して、3000語を1つ目の境界線とした。

しかし、「平成26年度英語力調査結果（高校3年生）の概要（詳細版）」によると、調査対象となった国公立高等学校3年生の英語力は中学3年生程度であり、読む、聞くというそれぞれの分野で約98%がヨーロッパ言語共通参照枠（以下CEFRとする）レベルのAランクであるという実態が報告されている（文部科学省）。日本の英語学習者の8割はCEFRのAレベルであるとの指摘する研究者も存在している（投野、2013、287）。おそらく筆者の指導対象の大学生も例外ではなく、大多数がこのレベルと考えることができる。少々横道にそれるが、上記調査結果について（表A）にまとめた上で少し説明をさせてもらう。

（表A）

CEFR レベル	読む	聞く
B2	0.2%	0.3%
B1	2.0%	2.0%
A2	25.1%	21.8%
A1	72.7%	75.9%

（文科省HPの報告書から一部抜粋して引用）

この報告書によると、調査対象の生徒はA2下位からA1上位に集中的に分布している。確かにこのデータは高等学校3年生の数値であるので、大学生の英語力としてそのまま読み替えることはできない。とは言うものの、大学入試の頃をピークに英語力が下降してしまう学生も少なくないこと等を考慮すると、多くの大学生の英語力もCEFRのAレベルと推定する

ことができる。特に英語非専攻の大学生は、高校での英語授業の時間数に比べて大学での授業時間数が格段に減ってしまい英語力が下降してしまうことも珍しくはない。また、文科省が作成したCEFRと各種英語試験との対照表によれば、CEFRのA2レベルがTOEICテストのスコアレンジ 225～545点に、A1レベルが120～220点に相当するとされている。筆者が指導する大学生の大部分がTOEICスコアで545点に届いていないことも、彼らの英語力をCEFRのAレベルと判断する根拠の1つなのである。この調査結果から推察するに、平均的な日本の大学生の語彙数は3000語レベルには達しているとは考えにくい。

2000語を次の境界線にした大きな理由は、多くの語彙研究がこの数値を着本語彙数としているからである。いくつか例を挙げると、「The General Service List of English Words」(West, 1953)、「Longman Defining Vocabulary」(Procter, 1978)などがある。『JACET8000英単語』も1000語単位でレベル分けをしており、JACET順位番号2001以降のTOEIC頻出語にはラベルを施していることから2000語を1つの単位としてとらえていることが読み取れる。さらに、CEFRの日本語版であるCEFR-Jの開発者である投野も英語コミュニケーションの土台を2000語としていることも参考にしてこの数値を2つ目の境界線として設定した。

3つ目の境界線を1000語としたのは、繰り返しになるが、『JACET8000英単語』がレベル分けを1000語単位でしていることも参考にした。しかし、前述した通り、「平成26年度英語力調査結果（高校3年生）の概要（詳細版）」で日本人高校3年生の英語力が中学3年生程度であると示されたことが関係している。中学校で学習する単語数が1200であっても、英語力が中3程度ということは中3修了程度ということではないのである。つまり、学習する1200語の全てを習得しているということにはならないと判断することもできなくはない。この文科省の調査を考慮すると、筆者が指導する機会のあるTOEICテストのレベル判定でEランクの学習者たちの語彙量が1000語程度にとどまっている可能性も低くないことか

らこの数値を境界線としたのである。

7.1 (動詞について)

7.1.1 『新公式問題集vol.1－vol.6』に登場した動詞

『新公式問題集vol.1－vol.6』のパート1 (写真描写問題：全480英文) に出現した動詞は(表3)でまとめた通り178種類、延べ数で490であった。これら178種類の動詞を3区分した頻度と、4区分したJACET順位番号に照らし合わせ(表B)にまとめてみた。表中のパーセントは小数点第2位を四捨五入した概数である。

(表B)

JACET 8000 頻度	1-1000 レベル1	1001-2000 レベル2	2001-3000 レベル3	3001-8000 レベル4-8 か登場せず	小計
5回以上	29種類 (16.3%)	5種類 (2.8%)	2種類 (1.1%)	<u>1種類</u> (0.6%)	37種類 (20.8%)
4－2回	40種類 (22.5%)	11種類 (6.2%)	0種類 (0.0%)	4種類 (2.2%)	55種類 (30.9%)
1回	27種類 (15.2%)	19種類 (10.7%)	13種類 (7.3%)	<u>27種類</u> (15.2%)	86種類 (48.3%)
小計	96種類 (53.9%)	35種類 (19.7%)	15種類 (8.4%)	32種類 (18.0%)	178種類 (100.0%)

(表B1)：レベル4－8の内訳

JACET 8000 頻度	3001-	4001-	5001-	6001-	7001-	登場せず	小計
5回以上	1種類 (0.6%)	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	1種類 (0.6%)
4－2回	3種類 (1.6%)	0種類 (0.0%)	1種類 (0.6%)	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	4種類 (2.2%)
1回	7種類 (4.0%)	6種類 (3.3%)	4種類 (2.2%)	4種類 (2.2%)	1種類 (0.6%)	5種類 (2.8%)	27種類 (15.2%)
小計	11種類 (6.2%)	6種類 (3.3%)	5種類 (2.8%)	4種類 (2.2%)	1種類 (0.6%)	5種類 (2.8%)	32種類 (18.0%)

この(表B)から読み取れることを記述していく。まず、JACET8000リストのレベル別にデータを見てみると、『新公式問題集vol.1－6』のパート1に出現した動詞は『JACET8000英単語』レベル1の単語が53.9%、レベル2が19.7%、レベル3が8.4%を占めており、レベルが高くなるにつれて出現する動詞の割合が下がっている。レベル4－8の内訳を示した(表B1)でも、レベル4の6.2%から徐々にレベル8の0.6%まで徐々に比率が下がっていることが確認できる。

他のパートと比べて易しめの単語の割合が高そうなパート1だが高いレベルの動詞も出現していた。『JACET8000英単語』にも登場しないbrowseのような単語が一例である。習得語彙数が1000語程度の学習者にとっては、『新公式問題集vol.1－6』に登場した178種の動詞のうち、半分近くの46.1% (82種)の動詞が計算上未知語となってしまう。習得語彙数が2000語程度の学習者にとっても約4分の1に相当する26.4% (47種)の動詞は計算上未知語となる。習得語彙数が3000語程度以上の学習者であれば、18.0% (32種)の未知語全てを学習することも過剰な負担とならないかもしれないが、出現回数が1回のみでJACET順位番号が高い動詞については割愛した指導を行うのも現実的な対応の仕方もかもしれない。(表B)の右下で下線を施した27種類 (15.2%)がそれらの動詞である。これ

らの動詞は（表3）の下部に登場したJACET順位番号3044のsecureから、『JACET8000英単語』に未登場のwringまでの27語である。語彙が豊富な学習者にとってはこうした動詞についてもその意味が把握できるように準備するべきかもしれない。だが、習得語彙数が1000-2000程度の学習者にとっては優先的に覚えねばならないもっと基本的な単語が他にたくさん残っている。しかし、一見するとレベルの高い単語の中でも、unlockやremodelなど比較的理解し易い接頭辞がついていて推測が十分可能であろうと判断される単語は、その語幹のJACET番号を確認して、順位番号が低いようであれば指導項目に含んでかまわないだろう。ちなみにこの2つの動詞の語幹部分—lockとmodel—は、順位番号が1442と928であるので、先に挙げたwringなどとは異なり、学習者にとっても習得が難しい単語とは考えにくいので、割愛せずに指導することが十分可能と思われる。

英語習熟度の低い学習者にとって、JACET順位番号が高い単語は今後通常の英語学習で遭遇する機会が少ないと思われるため習得も難しいことが予想される。しかしJACET順位番号が高い動詞であっても、頻度が極めて高い単語については学習させるという選択も必要かもしれない。こうした単語の一例を紹介する。（表B）で頻度が5回以上、JACETレベルが4-8の下線を施した1種類（0.6%）という部分に注目して欲しい。この動詞は「stack」で、JACET順位番号が3980の単語である。（表3）で示した通り、『新公式問題集vol.1-6』での出現頻度は8回もあった。この語は『基本例文700』のパート1最重要語リストに登場した28語の動詞のうちの一つでもある。この動詞のように、JACET順位番号が高くてこれほどの高頻度で出現する場合は、指導すべき単語に含む方が良いであろう。

（表B）では出現した動詞を頻度によって3つに区分してきたが、全480英文中に出現した178種類の動詞のうち、5回以上出現した動詞が37種類（20.8%）、4-2回が55種類（30.9%）、1回のみが86種類（48.9%）となっている。複数回出現した単語だけでも51.7%と半分強を占めている

のである。これらの動詞は、出題傾向が大幅に変更されない限り今後もTOEICテストに登場する可能性が高いと考えられる。一方、出現頻度が1回のみ動詞も実際のTOEICテストで出現する可能性は低いというわけではないので、出現回数が1回であることを指導時に強調しすぎることは避けるべきであろう。さもないと、学習者は、複数回登場した単語のみに重点を置いて学習し、単数回のみ登場の単語を軽視してしまうことが危惧されるからである。

(表3)の動詞の列に網掛けを施してある単語とそうでない単語について触れて念のためここで触れておく。研究の方法でも述べたように、動詞の列の網掛けは、『新公式問題集vol.1-6』にも『ロングマン』にも重複して出現した単語であることを示している。(表3)の動詞の列に網掛けがない場合は、『新公式問題集vol.1-6』には出現したが、『ロングマン』には出現していない動詞である。本研究の目的の1つに『新公式問題集vol.1-6』に出現した単語リストの作成を挙げたが、(表3)の表に登場するすべての動詞が抽出した単語となっている。

7.1.2 『ロングマン』に登場した動詞

次に、『ロングマン』に登場した動詞について記述する。(表4)を眺めてすぐ気づくことは副詞を従えたbe動詞の構文が76回も登場したことである。新公式問題集の最大数値が11であったことを考慮すると、この数字は特筆に値する程大きいことがわかる。(表3)で見てきた新公式問題集の最大頻度11を超えて『ロングマン』に出現した動詞は6種類存在していることが(表4)からわかる。このうち、トップ3は先ほど挙げたbe動詞+副詞(句)の組み合わせと、be動詞を存在の表現で使用している場合と、主語と補語の形容詞をイコールの意味でつなぐbe動詞を使用している場合の3通りである。これらの合計だけで延べ449回登場した動詞のうち156回(全体の約34.7%)を占めている。JACET8000リストを見るまでもなく、be動詞は基本語彙である。『ロングマン』の著者の意図が、存在

文中に登場する名詞や、位置を表すための副詞的語句の紹介だったり、第2文型の補語に入る形容詞を練習させることだったりするならば、動詞の頻度が156回と高すぎることは問題視すべきではないだろう。しかし、こうした意図がなくこれだけ反復しているならば、相当の割合でこれらの問題を割愛し、そこから捻出した時間を学習者の苦手な表現の練習等に再配分すれば指導効果が高まるのではないかと感じる結果であった。同様に、出現頻度8回の、補語に名詞をとるbe動詞のパターンも一部削減が可能と思われる。逆に、多くの受講生が苦手としているThere+be動詞+主語+～ed/～ingという構文がそれぞれ3回と1回という頻度でしか出現していないため、割愛した問題をこちらの文構造を理解させるための時間等に配分の方が学習者にとって是有益と思われる。

『ロングマン』のパート1対策部分(写真描写問題:全441英文)に出現した動詞は(表4)でまとめた通り116種類、延べ数で449であった。これら116種類の動詞を3区分した頻度と、4区分したJACET8000リスト順位番号に照らし合わせ(表C)にまとめてみた。表中のパーセントは小数点第2位を四捨五入した概数である。

(表C)

JACET 8000 頻度	1-1000 レベル1	1001-2000 レベル2	2001-3000 レベル3	3001-8000 レベル4-8 か登場せず	小計
5回以上	17種類 (14.7%)	0種類 (0%)	0種類 (0%)	0種類 (0%)	17種類 (14.7%)
4-2回	38種類 (32.8%)	1種類 (0.9%)	0種類 (0%)	1種類 (0.9%)	40種類 (34.5%)
1回	40種類 (34.5%)	8種類 (6.9%)	3種類 (2.6%)	8種類 (6.9%)	59種類 (53.6%)
小計	95種類 (81.9%)	9種類 (7.8%)	3種類 (2.6%)	9種類 (7.8%)	116種類 (100.0%)

(表C1)：レベル4－8の内訳

JACET 8000 頻度	3001-	4001-	5001-	6001-	7001-	登場せず	小計
5回以上	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)
4－2回	0種類 (1.6%)	0種類 (0.0%)	1種類 (0.9%)	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	1種類 (0.9%)
1回	2種類 (1.7%)	0種類 (0.0%)	2種類 (1.7%)	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	4種類 (3.5%)	8種類 (6.9%)
小計	2種類 (1.7%)	0種類 (0.0%)	2種類 (1.7%)	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	9種類 (7.8%)

まず、JACET8000リストのレベル別にデータを見てみると、『ロングマン』のパート1対策部分に出現した動詞はレベル1（81.9%）とレベル2（7.8%）を合わせて104種類（89.7%）を占めていることがわかる。

前項で確認した通り、『新公式問題集vol.1－6』のパート1に出現した動詞は、レベル1（53.9%）とレベル2（19.7%）を合わせて131種類（73.6%）である。これらの数値を考慮すると、『ロングマン』で出現した動詞は相対的に難易度が低いことがわかる。一因は、先に挙げたbe動詞を筆頭に、JACET順位番号の低い動詞の登場回数の多さが考えられる。このことを考慮しても、レベル1に区分される動詞の割合は『ロングマン』の81.9%に対して新公式問題集の53.9%と差は依然大きい。ここからわかることは、ロングマンを教科書として選定した場合、JACET8000リストの順位番号が高めの動詞を補完指導しないと、実際のTOEICテストで未知語の動詞が多いまま受験に臨まねばならない学生の確率があがってしまいかねない点である。

また、本研究で調査対象とした『ロングマン』は、背表紙にCEFRレベルB1－2、TOEICスコア300－600の学習者向けであると明記している（2012）。パート2－7までの検証は今回の調査対象に含んでいないため、パート1に出現した動詞のみで判断するのは適当でないが、あえてパー

ト1対策部分のみで判断すると、CEFRレベル、TOEICレベルともに著者Longheedの想定より易し目の設定になっているように感じられる結果となった。

また、『新公式問題集vol.1-6』では一度も出現しなかった動詞が49種類あり、特筆すべきはknow、need、think、feel、worry、prefer等心的状態の描写に使われる動詞が頻繁に登場していることである。パート1は写真描写問題であるため、実際のTOEICテストにおいて、これら心的状態を表す動詞が頻繁に登場することは予想しにくい。それゆえ、たとえばthinkという動詞が、sinkという動詞と音声的区別が難しいことを気づかせるためという意図等で使われたのでなければこのパートで扱う意味が薄れてしまうと思う。それゆえ、筆者はこれらの心的状態を表す動詞が含まれた部分は、その理由を説明したのち割愛した指導をしてかまわないのではないかと感じている。

7.1.3 重複して登場した動詞とカバー率

次に、『新公式問題集vol.1-6』と『ロングマン』に重複して出現した動詞について記述する。これらはすべてJACET8000リスト順に(表7)にまとめた。種類にして67、延べ出現回数は、前者に263回、後者に381回である。そのカバー率であるが、『新公式問題集vol.1-6』に登場した178種類の動詞のうち、『ロングマン』がカバーしたのは67種類で、割合にすると約37.6%である。両者に登場した動詞の延べ数は新公式問題集が490、『ロングマン』が449と大きな開きがない中で、カバー率が4割弱であったことは、『ロングマン』を教科書として使用する場合、補完指導した方が良いと思われる動詞がパート1だけでかなり多数存在していることになる。その数は111という結果となった。逆に、『ロングマン』には登場し、新公式問題集には登場しなかった動詞は49種類であった。これら49種類の動詞については、指導すべき単語であるか否かを担当教員が判断し、指導の有効性が低いと判断できた場合には指導項目から削除して、限

られた授業時間を有効に使えるようにすべきであろう。

レベルに視点を移してみる。(表7)のJACET8000リストの列で非常に濃い網掛けを施したassembleとpolishの2語のみがレベル4、やや薄い網掛けを施したhang、cook、examine、pack、displayの5語がレベル2で、網掛けのない残りの61種類はレベル1の動詞であった。上記6語を除き重複して登場した動詞の約91.0%がレベル1ということになる。このことは、『ロングマン』が『新公式問題集vol.1-6』でカバーした動詞の大部分がいわゆる基本レベルの単語であることを示す結果となった。

前項で確認したように、『ロングマン』一冊のみでも81.9%の動詞がレベル1であったことも、重複して登場した動詞の9割以上がレベル1の単語で占められる結果に大きく影響していると思われる。『ロングマン』の著者は、この教科書を使用する学生のレベルをTOEICスコアで300-600に設定しているので、語彙レベルを低めに押さえるのは当然のことかもしれないが、6割強の動詞を補完指導しなければならないのは指導者側にとっての負担が大きいことが示される結果であった。

(表7)からはもう1つの特徴が観察できる。それは、『ロングマン』に繰り返し登場した動詞の多さである。『ロングマン』頻度の列からもわかるように、be動詞、have、wear等、出現回数が極めて多かった単語が含まれていることも起因してか、この教科書に登場した延べ449の動詞のうち、『新公式問題集vol.1-6』と重複して登場した動詞の延べ数が381となり、新公式問題集に登場した延べ490の動詞のうちの延べ数263を大きく上回っている。これを比率でとらえると、『ロングマン』が381/449で約85%、『新公式問題集vol.1-6』は263/490で約54%となる。このように、繰り返し登場した単語の比率が85%対54%と大きく乖離していることから、『新公式問題集vol.1-6』は『ロングマン』と比べた際、出現する動詞のパリエーションが多いと言える。『ロングマン』は教科書冒頭の教員向けの言葉の中で反復の重要性を唱えている(Longheed, xiii)ため、意図的に特定の動詞の出現頻度を高めている可能性も考えうるが、

教科書として『ロングマン』を使用する際には、この特徴をわかった上で、同じ動詞を指導する繰り返しの回数を調整することが望ましいと思われる。

7.2 (名詞について)

7.2.1 『新公式問題集vol.1-6』に登場した名詞 (TOEICテストの傾向把握)

『新公式問題集vol.1-6』のパート1 (写真描写問題: 全480英文) に出現した名詞は(表5)でまとめた通り346種類、延べ数で927であった。これら346種類の動詞を3区分した頻度と、4区分したJACET順位番号に照らし合わせ(表D)にまとめてみた。表中のパーセントは小数点第2位を四捨五入した概数である。

(表D)

JACET 8000 頻度	1-1000 レベル1	1001-2000 レベル2	2001-3000 レベル3	3001-8000 レベル4-8 か登場せず	小計
5回以上	30種類 (8.7%)	10種類 (2.9%)	2種類 (0.6%)	3種類 (0.8%)	45種類 (13.0%)
4-2回	33種類 (9.5%)	32種類 (9.2%)	21種類 (6.1%)	30種類 (8.7%)	116種類 (33.5%)
1回	49種類 (14.2%)	41種類 (11.8%)	30種類 (8.7%)	65種類 (18.8%)	185種類 (53.5%)
小計	112種類 (32.4%)	83種類 (23.9%)	53種類 (15.4%)	98種類 (28.3%)	346種類 (100.0%)

(表D1)：レベル4－8の内訳

JACET 8000 頻度	3001-	4001-	5001-	6001-	7001-	登場せず	小計
5回以上	1種類 (0.3%)	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	2種類 (0.6%)	3種類 (0.9%)
4－2回	4種類 (1.2%)	4種類 (1.2%)	5種類 (1.4%)	3種類 (0.9%)	1種類 (0.3%)	13種類 (3.8%)	30種類 (8.7%)
1回	8種類 (2.3%)	11種類 (3.2%)	7種類 (2.0%)	10種類 (2.9%)	6種類 (1.7%)	23種類 (6.6%)	65種類 (18.8%)
小計	13種類 (3.8%)	15種類 (4.3%)	12種類 (3.5%)	13種類 (3.8%)	7種類 (2.0%)	38種類 (11.0%)	98種類 (28.3%)

JACET8000リストのレベル別にデータを見てみると、『新公式問題集 vol.1－6』に出現した名詞はレベル1 (32.4%) とレベル2 (23.9%) を合わせて195種類 (56.3%) にとどまっている。動詞のデータではレベル1と2を合わせた割合が73.6%を占めていたことと比較すると17.3ポイント少ない。この差が示していることは、『新公式問題集 vol.1－6』のパート1に出現した名詞は、同パートに出現した動詞と比較した場合、2000語レベルを超える単語が出現する確率が高いということである。学習者の語彙量を2000語と見積もって単純計算をした場合、パート1に出現する名詞の43.7%は未知語になってしまうということである。このパートの英文は短めの単文である割合が高いため、文脈を利用して未知語を瞬時に類推することは容易ではないと思われる。それゆえ、名詞に関しては動詞以上に、難易度ではなく出現頻度を意識した指導が求められそうである。

(表5) に登場した名詞の中で、上位3語は人間を表す名詞である。写真描写問題は、大別すると単数の人物が写っている場合、複数の人物が写っている場合、人物が写っていない場合の3種類のケースがある。人物を表す名詞はman、woman、peopleという上位3語に加え、worker (688)、customer (1157)、waiter (2801)、pedestrian (5380)、boy (196)、tourist (1576)、crew (1587)、performer (4673)、shopper (6596)、

bicyclist（登場せず）、swimmer（登場せず）の11語は新公式問題集に複数回登場している。（出現頻度順に挙げた各名詞に続くカッコ内の数値はJACET順位番号である。）接尾辞の-erや-istが付いている名詞については、順位番号が大きくても比較的推測し易いと思われる。一方、-ianという接尾辞は付いているもののカタカナで使われることが浸透していないpedestrianの意味を瞬時に類推することはかなり困難であろう。この名詞は3回出現していることもあり、JACET順位番号は高くとも指導しておきたい単語の1つと言えよう。

人物を表す名詞としては次のような単語も出現していた。officer、crowd、audience、traveler、fisherman、server、dentist、shopkeeper、dinerの9語である。出現回数は1回であるが、パート1では人物の写った写真が必ず出題されるため、職業名はもちろんのこと、集団を表すcrowdやaudienceなど人間を表す名詞についてはできるだけ多くの名詞についても学習指導しておく重要性が示される結果となった。

また、5回以上登場した単語を内容的に分類してみると、パート1の出題傾向が垣間見える。たとえば、10回出現したvehicle、8回出現したboat、6回出現したcar、5回出現したtruckとmotorcycleなど乗り物の名詞が多く出題されることがわかるため、この表に登場したbicycle、train、bus、van、airplane、motorbike、sailboat、tugboatなどと同様に指導しておくことは学習者にとって有益であろう。車両に関連する名詞とも言えるtraffic、platform、deckなども出現しているので、輸送・交通に関連する名詞を集中して指導することも効果が期待できそうであると感じる結果であった。

他にも、建物やそれに関連する名詞：wall、window、building、door、floor、office、shop、restaurant、bridge、railingなどが5回以上の高頻度で出現している。これらの大部分は大学生にとって理解することが難しいとは思えないが、『JACET8000英単語』にも未登場であったrailingはその出現頻度から、難易度が高くても指導しておくことが望ましい語彙の1つと

言えそうである。

また、建物の内部で目にする物品も頻出していた。5回以上の頻度で登場した名詞は、table、chair、box、desk、book、paper、document、picture、bed、shelf、seat、cup、itemの13語である。家具や書類を表す語句が多いことから、室内で見にすることの多い物品名を知っておくことの重要性も示された。

先ほど挙げた13語の最後にitemという名詞が出ている。この単語は、『基本例文700選』の「最重要語句リスト」にfood itemという語句で登場している(基本例文700選制作委員会、2013、30)。その語句の横に[上位語]という記載がされている。簡単に例を挙げて説明すると上位語の概念は次のように説明できる。レモンとかみかんというのは果物という上位語に対する下位語であり、果物や野菜というのは食物の下位語となる。逆に、果物はみかんの上位語であり、食物は果物の上位語ということになる。(表5)で上から10番目に登場しているvehicleは『新公式問題集vol. 1-6』に10回も出現した頻出の上位語と言える。これに対する下位語には、carやtruckなどが含まれるが、写真描写問題にはトラックが写っている場合に直接的にその語を使用せず、上位語のvehicleを使用して表現するケースなどがある。そのため、名詞を指導する際には、説明的に英語で表現させる練習を取り入れたりすると、TOEICテストの語彙対策も兼ねることができそうである。(表5)に出現した名詞のうち、buildingもhouseやbarnの上位語になりうるし、先に挙げたitemはもちろん、equipment、goods、furniture、merchandise、machine、instrumentも『基本例文700選』のパート1「最重要語リスト」に上位語というラベルとともに記載されている。これらの頻度は5-1回と必ずしも複数回出現をしてはいないものの、直接的な下位語の代わりに上位語で表現されるパターンが頻出するパート1の対策には、上位語と下位語を意識した学習が有効でありそうな結果となっていた。

7.2.2 『ロングマン』に登場した名詞

『ロングマン』のパート1対策部分（写真描写問題：全441英文）に出現した名詞は（表6）でまとめた通り279種類、延べ数で733であった。これら279種類の動詞を3区分した頻度と、4区分したJACET順位番号に照らし合わせ（表E）にまとめた。表中のパーセントは小数点第2位を四捨五入した概数である。

(表E)

JACET 8000 頻度	1-1000 レベル1	1001-2000 レベル2	2001-3000 レベル3	3001-8000 レベル4-8 か登場せず	小計
5回以上	22種類 (7.9%)	9種類 (3.2%)	4種類 (1.4%)	3種類 (1.1%)	38種類 (13.6%)
4-2回	43種類 (15.4%)	24種類 (8.6%)	10種類 (3.6%)	13種類 (4.7%)	90種類 (32.3%)
1回	51種類 (18.3%)	34種類 (12.2%)	18種類 (6.5%)	48種類 (17.2%)	151種類 (54.1%)
小計	116種類 (41.6%)	67種類 (24.0%)	32種類 (11.5%)	64種類 (22.9%)	279種類 (100.0%)

(表E1)：レベル4-8の内訳

JACET 8000 頻度	3001-	4001-	5001-	6001-	7001-	登場せず	小計
5回以上	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	0種類 (0.0%)	2種類 (0.7%)	1種類 (0.4%)	3種類 (4.7%)
4-2回	2種類 (0.7%)	0種類 (0.0%)	3種類 (1.1%)	1種類 (0.4%)	1種類 (0.4%)	6種類 (2.2%)	13種類 (4.7%)
1回	9種類 (3.2%)	7種類 (2.6%)	8種類 (2.9%)	6種類 (2.2%)	4種類 (1.4%)	14種類 (5.0%)	48種類 (17.2%)
小計	11種類 (3.9%)	7種類 (2.6%)	11種類 (3.9%)	7種類 (2.6%)	7種類 (2.6%)	21種類 (7.5%)	64種類 (22.9%)

上記（表E）におけるそれぞれの比率を表している数字は、『新公式

問題集vol.1－6』の名詞データで作成したものと大きな差はみられなかった。『新公式問題集vol.1－6』に出現した名詞の頻度は、5回以上が13.0%、4－2回が33.5%、1回が53.5%であり、『ロングマン』での13.6%、32.3%、54.1%と比べて大差はなかった。JACET8000レベルの観点からも、それぞれのレベルに出現した名詞の割合は、『新公式問題集vol.1－6』を10ポイント以上上回るような差はなかった。しかし、動詞と同様に、『ロングマン』で出現した名詞は『新公式問題集vol.1－6』と比較すると全体的に易しい単語が多いことがわかった。

前項で、人物を表す名詞について述べたが、『ロングマン』では新公式問題集に登場しなかった単語が出ている。それらは、出現頻度順にwaitress、carpenter、couple、passenger、patient、family、doctor、scientist、farmer、friend、student、teacher、driver、speaker、visitor、guest、lawyer、fool、singer、photographer、gardener、attendant、technician、attendeeの24語である。『新公式問題集vol.1－6』に出現した名詞はTOEICテスト対策授業で指導するべきであろうことは既に述べた。一方で、このケースのように、TOEICテスト対策を念頭において作成された教科書には出現したものの、比較対象の『新公式問題集vol.1－6』には登場しなかった語句の場合、指導語彙に含めるかどうかは教員が考えるべきであろう。例えば、TOEICテストでは、工事をしている場面についての出題が多いが、パート1も例外ではない。それゆえ、carpenterという職業名が登場する可能性は低いとは言えないのである。今回の研究では、新公式問題集6冊を調査したが、それ以前の公式問題集や2016年にリニューアルされた新形式のTOEICテストに合わせて発行された新形式問題対応編の公式問題集なども含めて比較対象にした場合、出現する語句は当然増加する。つまり、今回調査の対象とした新公式問題集6冊に出現していなくとも、それだけを理由に指導の必要なしとして割愛して指導をすることがあってはならない。ここでこそ、指導する教員は勘と経験も活かして、指導すべき単語であるかどうかを判断をすることが必要と言えらるう。

7.2.3 重複して登場した名詞とカバー率

次に、『新公式問題集vol.1-6』と『ロングマン』に重複して出現した名詞について記述する。これらはすべて(表8)にまとめた。種類にして129、延べ出現回数は、前者に562回、後者に478回である。カバー率であるが、『新公式問題集vol.1-6』に登場した346種類の名詞のうち、『ロングマン』がカバーしたのは129種類で、割合にすると約37.3%であった。この数値は、動詞に着目した際の『ロングマン』のカバー率37.6%とほぼ同じである。名詞のカバー率も4割弱であったので、『ロングマン』を教科書として使用する場合、補完指導した方が良いと思われる名詞がパート1だけで217種類存在しているということになる。

レベルに視点を移してみる。(表8)のJACET8000リストの列で非常に濃い網掛けを施したレベル4以上の名詞は、cabinet、clothes、construction、microphone、notebook、shopper、briefcase、dessert、ferry、grocery、luggage、mobile、suitcaseの13語、やや薄い網掛けを施したレベル3の名詞がdocument、shelf、bench、umbrella、waiter、furniture、drawer、lamp、belt、bush、clothing、pinの12語、薄い網掛けを施したレベル2の名詞がdesk、customer、item、restaurant、traffic、clock、counter、equipment、row、tool、hat、pot、bottle、jacket、leaf、mirror、platform、sheet、shore、sink、site、boot、cap、conference、cook、curtain、engine、grass、hall、plate、roof、shirt、tie、waveの34語で、その他70語はレベル1の名詞である。ここまで挙げたレベル2以上の単語でもその多くがカタカナでも使われていることが見て取れる。カタカナで使用される語であるからといって指導の必要がないわけではない。パート1での出現ということは英語での発音を聴きとる必要があるため音声面でのズレに対応できるまで聴きとりの練習をさせることが重要である。

『新公式問題集vol.1-6』と『ロングマン』の出現頻度が相手方の3倍以上の比率であった名詞を(表F)にまとめてみた。

(表F)

	新公式問題集頻度	ロングマン頻度
woman	52	4
people	33	3
worker	9	1
boat	8	1
side	8	1
document	7	1
floor	6	2
picture	6	2
item	5	1
traffic	5	1
computer	4	14
bottle	2	7
bush	1	4
curtain	1	4
grass	1	11
house	1	20
lot	1	5
tie	1	4

出現頻度が高かった側には網掛けを施してある。前述したように、『ロングマン』は人間を表す名詞が相対的に少なかったためか表の上から3列に登場したwoman、people、workerの3語は頻度において大きな差が見られる。逆に、『ロングマン』の方で多く出現している名詞にcomputerやbottleがあるが、computerをその上位語であるdeviceやmachine等に、bottleもcontainer等に置き換えて表現することも可能であろう。bottleが商品として陳列されているならmerchandise等に置き換えても良いだろう。学習者がすでに知っていると思われる語の繰り返しが多いと感じられる場合、上位語や下位語を使用して書き換えることでより幅の広い表現をインプットすることができるのではないだろうか。

また、習得語彙数が3000語程度の大学生を上級、2000語程度を中級、

1000語程度を初級と大まかに区分した場合、パート1で出現可能性の高い動詞と名詞が未知語である確率を試算すると（表G）のようになる。

（表G）：学習者の習得語彙数による未知語の割合

	初級（1000語習得者）	中級（2000語習得者）	上級（3000語習得者）
動詞	46.1%	26.4%	18.0%
名詞	67.7%	43.7%	28.3%

これらを単語数で見ると（表H）のようになる。

（表H）：学習者の習得語彙数による学習が必要な単語数

	初級（1000語習者）	中級（2000語習者）	上級（3000語習者）
動詞	82語	47語	32語
名詞	234語	151語	98語
小計	316語	198語	130語

中学校と高校での英語学習でそれぞれ1200語、1800語を学習するという前提で単純計算すると、1年あたり中学校で400語、高校で600語学習するということになる。中高で学ぶ3000語を全て習得した上級レベルの学習者でも、パート1に出現する動詞と名詞だけでも未知語の数が計算上130語となる。このパートで出現する単語がその他のパートと比較して易しめであること、品詞も形容詞、副詞、他の機能語を含んでいないこと、学校で学習する単語と『JACET8000英単語』の選定基準が異なること等を考慮すると、上級レベルの学習者にとってもTOEICテストに出現する単語を習得するためにはかなり多くの時間が必要になる。中級レベルの学習者ではパート1の動詞と名詞だけでも198語、初級レベルの学習者では316語の未知語となるため、さらに多くの時間が習得のため必要になる。他の品詞で習得できていない単語や熟語、別なパート（2-7）での未知

語の学習もすることを考慮すると通年の授業であっても全てを習得させることなど到底現実的な目標にはなりえない。学習者からの視点で考えると、一年間の授業でどの程度の単語を学習し、どの程度の理解と習得が求められているかがわかっている場合とそうでない場合では学習計画の立案や努力の仕方に差が出ると思われる。たとえるなら、到達すべきゴールがどれくらい先にあるのかを知っている場合と知らずに走らされる場合を考えれば後者がいかに辛いものかは簡単に想像できるだろう。とはいえ、TOEICテストの対策授業をする場合、習得すべき単語数を明確にすることは容易でない。しかし、TOEICテスト対策授業を担当する教員は、専門的にこのテストの研究をしていなくとも、単語に関しても目利きができるようになり、学習者がどの程度語彙量を増やすべきかについて助言ができるように努めるべきだろう。

8 おわりに

本調査の目的の一つであったTOEICテストパート1に頻出する動詞と名詞の抽出は、6冊の新公式問題集のみを調査対象とした限定的なものではあるが完了した。これらをJACET順位番号と照らし合わせることで、両品詞とも1000語レベルの単語からの出現が最も多く、2000語レベル、3000語レベルと難易度が上がるにつれて出現率が下がることが発見できた。動詞に関しては4000語レベルから8000語レベルに細分化し調査した場合も、レベルが上がるにつれて出現率が階段状に低下するという傾向が発見できた。名詞に関しては、4000-7000語レベルでは出現率がほぼ横ばいで推移し、8000語レベルから出現率が低下していることがわかった。全体的にみると、動詞は名詞よりJACET順位番号が低い単語からの出現が多いということがわかった。

上記目的で抽出した単語を(1)『新公式問題集vol.1-6』と『ロングマン』両方に出現したもの、(2)『新公式問題集vol.1-6』のみに出現したもの、(3)『ロングマン』のみ出現したものに区分した結果、わかっ

たことをまとめておく。(1)では、その動詞、名詞ともカバー率が4割弱にとどまり、『ロングマン』を教科書として使用する際に投げ込み教材等で補完すべき語が相当数あることがわかった。補完が必要と思われる語は(2)である。次に(3)の語句に目を向けると、写真描写問題であるパート1の英文中に出現する確率が低いと思われる心的状態を表すknowのような単語が含まれていることがわかり、割愛しての指導が可能かもしれない語彙リストができたとも言える。

本研究では、パート1の動詞と名詞のみに焦点化して調査を行った。残りのパートについても、また形容詞と副詞という内容語についても調査対象を拡大してTOEICテストの出題傾向をより広く把握し、こうした客観的データを利用しながらTOEIC対策授業で使用する教科書の選定を行なうことは学習者にとって有益だろう。本研究ではTOEICテストでの出現可能性を把握するため、6冊の新公式問題集を調査したが、それらより以前に出版された公式問題集や、2016年にリニューアルされたTOEICテスト準備のための公式問題集（新形式問題対応編）なども合わせて調査対象とすることでより多種多様な頻出語に出会える確率が高まる。今後もTOEIC対策授業を行う上で、指導の質を高めるためにも継続して調査をしていこうと考えている。

9 参考文献

- Educational Testing Service (2000) 『TOEICテスト公式ガイド&問題集』国際ビジネスコミュニケーション協会.
- Educational Testing Service (2002) 『TOEICテスト公式ガイド&問題集』国際ビジネスコミュニケーション協会.
- Educational Testing Service (2005) 『TOEICテスト新公式問題集』国際ビジネスコミュニケーション協会.
- Educational Testing Service (2007) 『TOEICテスト新公式問題集Vol. 2』国際ビジネスコミュニケーション協会.
- Educational Testing Service (2008) 『TOEICテスト新公式問題集Vol. 3』国際ビジネスコミュニケーション協会.
- Educational Testing Service (2009) 『TOEICテスト新公式問題集Vol. 4』国際ビジネスコミュニケーション協会.
- Educational Testing Service (2011) 『TOEICテスト公式プラクティスリスニング編』国際ビジネスコミュニケーション協会.
- Educational Testing Service (2012) 『TOEICテスト新公式問題集Vol. 5』国際ビジネスコミュニケーション協会.
- Educational Testing Service (2014) 『TOEICテスト新公式問題集Vol. 6』国際ビジネスコミュニケーション協会.
- Educational Testing Service (2015) 『TOEICテスト公式問題で学ぶボキャブラリー』国際ビジネスコミュニケーション協会.
- Educational Testing Service (2016a) 『TOEICテスト公式問題集新形式問題対応編』国際ビジネスコミュニケーション協会.
- Educational Testing Service (2016b) 『公式TOEIC Listening & Reading問題集』国際ビジネスコミュニケーション協会.
- Lougheed, L. (2012). Longman Preparation Series for the TOEIC Test : Listening and Reading, Intermediate Course. 5th edition. Pearson Education.
- McDonough, J., Shaw, C. & Masuhara, H. (2013). Materials and Methods in ELT. Wiley-Blackwell.
- Nation, I.S.P. (1990). Teaching and Learning Vocabulary. Heinle & Heinle Publishers.
- Procter, P. (1978). Defining Vocabulary 2000 Words. Longman.
- West, M. (1953). A General Service List of English Words. Longman.
- 相澤一美・石川慎一郎・村田年(編)(2005)『大学英語教育学会基本語リストに基づくJACET8000英単語』桐原書店.
- 国際ビジネスコミュニケーション協会「TOEIC Program Data & Analysis」2017 Retrieved from http://www.iibc-global.org/library/default/toEIC/official_data/pdf/DAA.pdf
- 国際ビジネスコミュニケーション協会(訳)中條清美・Genung, M.「British National Corpusを活用したTOEICテストの分析」(2005)国際ビジネスコミュニケーション協会
- 清川英男・濱岡美郎・鈴木純子(2003)『英語教師のためのExcel活用法』大修館書店.
- 投野由起夫(編)(1997)『英語語彙習得論』河源社.
- 投野由起夫(編)(2013)『CAN-DOリスト作成・活用英語到達度指標CEER-Jガイドブック

ク』大修館書店.

投野由起夫 (2015)『発信力をつける新しい英語語彙指導』三省堂.

投野由起夫 (編) (2015)『エースクラウン英和辞典第2版』三省堂.

前田ヒロ (監) (2013)『TOEICテスト基本例文700選』アルク.

文部科学省 (2016) Retrieved from www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2015/12/25/1365622_3_1.pdf

10 資料

* (表1)、(表2)、(表11)、(表12)、(表13)、(表14)、は紙面の都合上掲載を省略

(表3) 新公式問題集vol.1 - 6 に登場した178種類490ヶの動詞
(新公式問題集頻度順)

動詞	頻度	JACET8000 リスト	動詞	頻度	JACET8000 リスト
be there	11	13	write	6	216
take	11	80	enter	6	550
look	10	65	cross	6	736
walk	10	225	adjust	6	2275
stand	10	253	work	5	87
arrange	10	1466	try	5	124
be adv. (in SV)	8	13	play	5	156
place	8	129	turn	5	161
put	8	131	leave	5	175
set	8	246	close	5	231
park	8	710	read	5	233
stack	8	3980	carry	5	274
be adj. (in SVC)	7	13	plant	5	403
move	7	184	pick	5	508
hold	7	256	build	5	556
line	7	280	ride	5	930
remove	7	1036	repair	5	1811
hang	7	1141	fold	5	2183
lean	7	1429	get	4	57

動詞	頻度	JACET8000 リスト	動詞	頻度	JACET8000 リスト
talk	4	134	reach	2	320
open	4	198	pay	2	344
wait	4	301	pass	2	348
eat	4	312	cut	2	353
pull	4	510	buy	2	362
fill	4	611	rest	2	431
serve	4	620	step	2	469
clean	4	676	shop	2	488
push	4	691	fish	2	551
paint	4	901	sort	2	614
wash	4	992	prepare	2	673
sweep	4	3305	throw	2	704
have	3	15	separate	2	922
use	3	78	tie	2	1014
face	3	182	empty	2	1030
point	3	237	pack	2	1228
sit	3	258	swim	2	1580
lie	3	406	transport	2	1872
cover	3	432	attach	2	1885
drive	3	537	pile	2	1980
seat	3	690	polish	2	3484
climb	3	917	assemble	2	3883
examine	3	1063	be n. (in SVC)	1	13
gather	3	1105	be there S -ed	1	13
roll	3	1124	do	1	20
cook	3	1234	make	1	64
install	3	5576	hand	1	138
be there S -ing	2	13	stop	1	228
go	2	40	speak	1	269
show	2	143	follow	1	309
water	2	197	grow	1	324
watch	2	267	fall	1	328

TOEIC L&Rテストに登場する動詞と名詞に関する考察

動詞	頻度	JACET8000 リスト	動詞	頻度	JACET8000 リスト
clear	1	339	concentrate	1	1638
order	1	341	wheel	1	1719
meet	1	347	organize	1	1793
send	1	437	brush	1	1822
share	1	444	file	1	2005
listen	1	476	shade	1	2023
wear	1	558	wrap	1	2049
position	1	594	greet	1	2176
sell	1	641	load	1	2180
wave	1	798	button	1	2251
press	1	852	rope	1	2279
spread	1	897	shelter	1	2324
exchange	1	899	lower	1	2400
dry	1	923	carpet	1	2434
shake	1	951	grasp	1	2670
lift	1	962	scatter	1	2785
board	1	988	suspend	1	2891
direct	1	1004	secure	1	3044
collect	1	1056	distribute	1	3361
replace	1	1204	situate	1	3750
camp	1	1243	exhibit	1	3782
display	1	1375	insert	1	3800
connect	1	1386	tighten	1	3947
row	1	1411	dock	1	3969
mix	1	1427	tidy	1	4069
lock	1	1442	trim	1	4395
extend	1	1492	splash	1	4441
select	1	1494	hammer	1	4581
pour	1	1522	haul	1	4704
crash	1	1536	straighten	1	4896
tape	1	1600	sip	1	5124
deliver	1	1632	retrieve	1	5135

動詞	頻度	JACET8000 リスト	動詞	頻度	JACET8000 リスト
prop	1	5599	rearrange	1	登場せず
coil	1	5825	remodel	1	登場せず
unlock	1	6214	unplug	1	登場せず
scrub	1	6484	wring	1	登場せず
unload	1	6793	小計	490	
pave	1	6936	178種類	のべ490ヶ	
staple	1	7527	480英文中		
browse	1	登場せず			

動詞	頻度	JACET8000リスト
新公式問題集・ロングマン重複登場	5回以上登場	レベル1 (1-1000)
	4-2回登場	レベル2 (1001-2000)
	1回登場	レベル3 (2001-3000)
		レベル4 (3001-8000と登場せず)

(表4) ロングマンに登場した116種類449ヶの動詞
(ロングマン頻度順)

動詞	頻度	JACET8000 リスト	動詞	頻度	JACET8000 リスト
be adv.	76	13	use	6	78
be adj.	44	13	close	5	231
be there	36	13	read	5	233
have	16	15	cover	5	432
wear	16	558	set	4	246
look	15	65	carry	4	274
stand	11	253	wait	4	301
sit	11	258	eat	4	312
take	10	80	drink	4	518
be n.	8	13	fill	4	611
work	8	87	serve	4	620
hold	7	256	be there -ed	3	13
park	7	710	know	3	56

TOEIC L&Rテストに登場する動詞と名詞に関する考察

動詞	頻度	JACET8000 リスト	動詞	頻度	JACET8000 リスト
get	3	57	say	1	47
come	3	71	think	1	61
face	3	182	place	1	129
walk	3	225	talk	1	134
cut	3	353	hand	1	138
buy	3	362	help	1	140
prepare	3	673	feel	1	152
clean	3	676	start	1	157
go	2	40	turn	1	161
give	2	117	move	1	184
live	2	128	water	1	197
put	2	131	run	1	211
need	2	132	answer	1	236
leave	2	175	watch	1	267
write	2	216	line	1	280
speak	2	269	begin	1	289
bring	2	281	order	1	341
grow	2	324	pay	1	344
fall	2	328	allow	1	388
meet	2	347	sign	1	402
shop	2	488	act	1	415
finish	2	531	enjoy	1	459
drive	2	537	draw	1	527
laugh	2	553	build	1	556
touch	2	570	choose	1	598
check	2	785	cost	1	618
count	2	911	ring	1	638
address	2	920	sell	1	641
discuss	2	978	seat	1	690
hang	2	1141	worry	1	723
cough	2	5345	skill	1	792
be there -ing	1	13	wave	1	798

動詞	頻度	JACET8000 リスト	動詞	頻度	JACET8000 リスト
protect	1	815	admire	1	2024
tend	1	896	analyze	1	2366
paint	1	901	wipe	1	2392
measure	1	909	polish	1	3484
shake	1	951	assemble	1	3883
board	1	988	bake	1	5147
wash	1	992	sew	1	5303
tax	1	1050	bore	1	登場せず
examine	1	1063	rehearse	1	登場せず
prefer	1	1158	rinse	1	登場せず
pack	1	1228	shelve	1	登場せず
cook	1	1234	小計	449	
display	1	1375	116種類	のべ 449動詞	
conduct	1	1433			
operate	1	1514	431英文中		

動詞	頻度	JACET8000リスト
新公式問題集・ロングマン重複登場	5回以上登場	レベル1 (1-1000)
	4-2回登場	レベル2 (1001-2000)
	1回登場	レベル3 (2001-3000)
		レベル4 (3001-8000と登場せず)

(表5) 新公式問題集に登場した346種類927ヶの名詞
(新公式問題集頻度順)

名詞	頻度	JACET8000 リスト	名詞	頻度	JACET8000 リスト
man	58	88	building	11	492
woman	52	181	street	10	448
people	33	46	chair	10	738
table	21	394	vehicle	10	1930
wall	12	522	water	9	197
window	11	418	box	9	671

TOEIC L&Rテストに登場する動詞と名詞に関する考察

名詞	頻度	JACET8000 リスト	名詞	頻度	JACET8000 リスト
worker	9	688	railing	5	登場せず
side	8	245	plant	4	403
door	8	261	computer	4	416
food	8	287	front	4	540
boat	8	797	phone	4	816
desk	8	1263	board	4	988
book	7	215	display	4	1375
paper	7	358	tool	4	1409
document	7	2013	row	4	1411
car	6	241	clock	4	1472
tree	6	307	equipment	4	1568
picture	6	355	dish	4	1569
bed	6	464	counter	4	1910
piece	6	482	bench	4	2026
floor	6	633	fence	4	2098
pile	6	1980	waiter	4	2801
shelf	6	2394	umbrella	4	2830
line	5	280	cabinet	4	3118
office	5	376	goods	4	登場せず
shop	5	488	tablecloth	4	登場せず
seat	5	690	hand	3	138
cup	5	745	room	3	218
meal	5	997	light	3	276
restaurant	5	1043	area	3	284
customer	5	1157	ground	3	421
bridge	5	1163	road	3	439
item	5	1262	step	3	469
traffic	5	1328	fish	3	551
cheese	5	1787	garden	3	632
truck	5	1861	store	3	756
cart	5	4745	flower	3	822
motorcycle	5	7885	pair	3	1069

名詞	頻度	JACET8000 リスト	名詞	頻度	JACET8000 リスト
screen	3	1305	corner	2	870
hat	3	1360	bottle	2	1027
pool	3	1511	site	2	1154
pot	3	1881	shoe	2	1178
furniture	3	2333	beach	2	1187
bicycle	3	2353	sheet	2	1303
ladder	3	2752	net	2	1384
clothes	3	3043	unit	2	1421
construction	3	3071	gate	2	1428
tire	3	4649	scale	2	1474
pedestrian	3	5380	tourist	2	1576
microphone	3	5419	crew	2	1587
intersection	3	登場せず	stair	2	1637
merchandise	3	登場せず	sink	2	1645
sunglass	3	登場せず	mirror	2	1655
walkway	3	登場せず	leaf	2	1743
boy	2	196	jacket	2	1751
group	2	220	lecture	2	1908
watch	2	267	laboratory	2	1961
game	2	286	platform	2	1962
train	2	391	shore	2	1966
top	2	426	file	2	2005
sea	2	490	bike	2	2179
machine	2	557	garage	2	2350
stage	2	586	wire	2	2407
rock	2	658	brick	2	2517
stone	2	677	tent	2	2567
material	2	716	lamp	2	2568
bus	2	819	deck	2	2610
painting	2	841	sandwich	2	2612
kitchen	2	843	pencil	2	2640
bag	2	865	van	2	2654

TOEIC L&Rテストに登場する動詞と名詞に関する考察

名詞	頻度	JACET8000 リスト	名詞	頻度	JACET8000 リスト
tray	2	2708	control	1	338
drawer	2	2764	business	1	373
cupboard	2	2882	sign	1	402
label	2	3154	music	1	427
performer	2	4673	field	1	472
pillow	2	4719	break	1	477
notebook	2	4783	report	1	479
fixture	2	5480	service	1	502
rack	2	5631	evening	1	504
scarf	2	5944	drink	1	518
cyclist	2	6081	meeting	1	580
handbag	2	6099	ship	1	610
shopper	2	6596	glass	1	624
patio	2	7475	foot	1	636
bicyclist	2	登場せず	note	1	637
binder	2	登場せず	size	1	640
bookshelf	2	登場せず	river	1	646
closet	2	登場せず	page	1	667
folder	2	登場せず	card	1	698
notepad	2	登場せず	rain	1	719
swimmer	2	登場せず	movie	1	742
can	1	36	message	1	763
time	1	49	forest	1	764
work	1	87	shape	1	777
house	1	163	wave	1	798
number	1	204	telephone	1	812
lot	1	229	direction	1	829
city	1	239	wood	1	850
form	1	264	shoulder	1	867
case	1	322	series	1	884
letter	1	323	officer	1	887
earth	1	331	paint	1	901

名詞	頻度	JACET8000 リスト	名詞	頻度	JACET8000 リスト
crowd	1	942	package	1	1629
farm	1	946	panel	1	1647
conversation	1	948	tap	1	1691
supply	1	957	tower	1	1710
variety	1	970	border	1	1714
audience	1	1000	height	1	1722
tie	1	1014	repair	1	1811
weather	1	1016	shirt	1	1826
copy	1	1077	conference	1	1863
hall	1	1121	boot	1	1880
plate	1	1123	text	1	1890
magazine	1	1134	curtain	1	1927
photograph	1	1151	cloth	1	1938
lake	1	1177	cap	1	1959
handle	1	1180	traveler	1	1976
cook	1	1234	classroom	1	2021
structure	1	1235	shade	1	2023
fan	1	1248	piano	1	2032
plastic	1	1306	tooth	1	2045
grass	1	1310	apartment	1	2081
sail	1	1312	clothing	1	2095
engine	1	1338	column	1	2105
bite	1	1346	frame	1	2107
content	1	1387	tunnel	1	2127
coat	1	1425	tank	1	2164
instrument	1	1458	belt	1	2175
bread	1	1523	pin	1	2200
studio	1	1538	supermarket	1	2351
bowl	1	1560	manual	1	2364
ocean	1	1562	presentation	1	2370
roof	1	1592	bush	1	2376
tape	1	1600	carpet	1	2434

TOEIC L&Rテストに登場する動詞と名詞に関する考察

名詞	頻度	JACET8000 リスト	名詞	頻度	JACET8000 リスト
basket	1	2503	jar	1	5208
lane	1	2542	weed	1	5379
salad	1	2569	dentist	1	5466
reflection	1	2679	pier	1	5515
pan	1	2760	excavation	1	5656
container	1	2770	suitcase	1	5684
hook	1	2797	stove	1	5758
pavement	1	2816	dam	1	6069
doorway	1	2852	cone	1	6141
poster	1	2936	luggage	1	6316
airplane	1	2964	mattress	1	6321
lawn	1	2975	appliance	1	6368
fisherman	1	2998	waterfall	1	6678
resident	1	3094	belonging	1	6850
terminal	1	3437	shopkeeper	1	6892
cable	1	3562	freezer	1	6895
server	1	3587	paperwork	1	6975
printer	1	3682	dessert	1	7242
sleeve	1	3879	briefcase	1	7467
dock	1	3969	refrigerator	1	7477
stack	1	3980	grocery	1	7647
lid	1	4172	plumbing	1	7874
warehouse	1	4348	hose	1	7932
arch	1	4390	bedding	1	登場せず
mobile	1	4450	beverage	1	登場せず
hammer	1	4581	carton	1	登場せず
balcony	1	4624	conveyor	1	登場せず
ferry	1	4642	diner	1	登場せず
lobby	1	4650	handrail	1	登場せず
staircase	1	4750	keypad	1	登場せず
stool	1	4817	lamppost	1	登場せず
pottery	1	4973	motorbike	1	登場せず

名詞	頻度	JACET8000 リスト	名詞	頻度	JACET8000 リスト
motorcyclist	1	登場せず	stepladder	1	登場せず
necktie	1	登場せず	tugboat	1	登場せず
paintbrush	1	登場せず	utensil	1	登場せず
passageway	1	登場せず	vase	1	登場せず
pitcher	1	登場せず	washcloth	1	登場せず
podium	1	登場せず	whiteboard	1	登場せず
sailboat	1	登場せず	小計	927	
shorefront	1	登場せず	346種類		

名詞	頻度	JACET8000リスト
新公式問題集・ロングマン重複登場	5回以上登場	レベル1 (1-1000)
	4-2回登場	レベル2 (1001-2000)
	1回登場	レベル3 (2001-3000)
		レベル4 (3001-8000と登場せず)

(表6) ロングマンに登場した279種類733ヶの名詞
(ロングマン頻度順)

名詞	頻度	JACET8000 リスト	名詞	頻度	JACET8000 リスト
table	34	394	front	8	540
man	33	88	restaurant	8	1043
house	20	163	hand	7	138
computer	14	416	water	7	197
window	14	418	book	7	215
car	13	241	bottle	7	1027
waitress	13	7688	customer	7	1157
wall	12	522	sidewalk	7	登場せず
street	11	448	door	6	261
grass	11	1310	food	6	287
chair	10	738	box	6	671
desk	9	1263	meter	6	1274
office	8	376	mirror	6	1655

TOEIC L&Rテストに登場する動詞と名詞に関する考察

名詞	頻度	JACET8000 リスト	名詞	頻度	JACET8000 リスト
shelf	6	2394	piece	3	482
carpenter	6	7268	garden	3	632
day	5	81	tea	3	679
lot	5	229	patient	3	711
paper	5	358	dinner	3	858
park	5	710	plane	3	1219
corner	5	870	jacket	3	1751
coffee	5	1060	cap	3	1959
tool	5	1409	menu	3	2530
bench	5	2026	drawer	3	2764
lamp	5	2568	curb	3	5694
waiter	5	2801	napkin	3	登場せず
woman	4	181	placemat	3	登場せず
room	4	218	tablecloth	3	登場せず
tree	4	307	right	2	106
order	4	341	place	2	129
couple	4	675	family	2	174
cup	4	745	night	2	185
store	4	756	story	2	188
board	4	988	head	2	206
tie	4	1014	money	2	223
passenger	4	1313	picture	2	355
hat	4	1360	business	2	373
curtain	4	1927	train	2	391
bush	4	2376	doctor	2	404
cabinet	4	3118	top	2	426
calculator	4	7241	field	2	472
signpost	4	登場せず	stage	2	586
people	3	46	station	2	612
line	3	280	floor	2	633
sign	3	402	dress	2	650
plant	3	403	stone	2	677

名詞	頻度	JACET8000 リスト	名詞	頻度	JACET8000 リスト
scientist	2	776	dock	2	3969
ball	2	791	mat	2	5090
phone	2	816	chimney	2	5187
flower	2	822	microscope	2	6254
painting	2	841	nap	2	登場せず
sale	2	880	skyscraper	2	登場せず
branch	2	963	time	1	49
meal	2	997	work	1	87
farmer	2	1018	back	1	92
suit	2	1087	home	1	133
map	2	1103	friend	1	168
hall	2	1121	eye	1	186
plate	2	1123	number	1	204
flight	2	1125	group	1	220
pocket	2	1249	walk	1	225
background	2	1285	city	1	239
row	2	1411	side	1	245
knife	2	1465	stand	1	253
clock	2	1472	hour	1	262
snow	2	1487	watch	1	267
equipment	2	1568	job	1	273
leaf	2	1743	light	1	276
vegetable	2	1767	student	1	277
shirt	2	1826	white	1	306
pen	2	1879	morning	1	321
belt	2	2175	air	1	346
good-bye	2	2193	teacher	1	364
curve	2	2493	left	1	419
glove	2	2664	ground	1	421
umbrella	2	2830	step	1	469
fork	2	2918	art	1	484
spoon	2	2967	meeting	1	580

TOEIC L&Rテストに登場する動詞と名詞に関する考察

名詞	頻度	JACET8000 リスト	名詞	頻度	JACET8000 リスト
player	1	600	site	1	1154
glass	1	624	post	1	1179
foot	1	636	dollar	1	1183
size	1	640	block	1	1197
television	1	661	meat	1	1203
middle	1	669	cook	1	1234
worker	1	688	item	1	1262
newspaper	1	699	sheet	1	1303
rain	1	719	traffic	1	1328
movie	1	742	museum	1	1334
afternoon	1	751	engine	1	1338
court	1	766	medicine	1	1476
boat	1	797	sand	1	1556
wave	1	798	concert	1	1583
telephone	1	812	roof	1	1592
driver	1	839	sink	1	1645
wood	1	850	lawyer	1	1669
cat	1	851	tower	1	1710
writer	1	860	cake	1	1715
bag	1	865	fool	1	1739
speaker	1	868	conference	1	1863
winter	1	876	boot	1	1880
address	1	920	pot	1	1881
discussion	1	965	counter	1	1910
audience	1	1000	mail	1	1915
match	1	1025	platform	1	1962
spot	1	1071	shore	1	1966
visitor	1	1086	document	1	2013
lunch	1	1106	shell	1	2064
roll	1	1124	clothing	1	2095
guest	1	1131	landscape	1	2140
fruit	1	1149	orchestra	1	2189

名詞	頻度	JACET8000 リスト	名詞	頻度	JACET8000 リスト
pin	1	2200	microphone	1	5419
facility	1	2218	cushion	1	5613
ceiling	1	2221	technician	1	5683
singer	1	2228	suitcase	1	5684
photo	1	2252	picnic	1	5771
furniture	1	2333	stripe	1	6161
drain	1	2528	peach	1	6282
bean	1	2536	luggage	1	6316
photographer	1	2673	telescope	1	6575
balloon	1	2704	shopper	1	6596
chart	1	2788	runway	1	6642
geography	1	2868	dessert	1	7242
sock	1	2994	baggage	1	7303
budget	1	3021	briefcase	1	7467
clothes	1	3043	grocery	1	7647
construction	1	3071	attendee	1	登場せず
session	1	3084	bakery	1	登場せず
aircraft	1	3090	carousel	1	登場せず
component	1	3122	coffeemaker	1	登場せず
holder	1	3391	loudspeaker	1	登場せず
disc	1	3520	lumber	1	登場せず
exhibit	1	3782	nighttime	1	登場せず
waist	1	4038	schoolyard	1	登場せず
gardener	1	4218	shovel	1	登場せず
mobile	1	4450	showroom	1	登場せず
controller	1	4614	silverware	1	登場せず
ferry	1	4642	wallpaper	1	登場せず
notebook	1	4783	whiteboard	1	登場せず
parking	1	4824	workbench	1	登場せず
purse	1	5184	小計	733	
lunchtime	1	5266	279種類		
attendant	1	5326			

TOEIC L&Rテストに登場する動詞と名詞に関する考察

名詞	頻度	JACET8000リスト
新公式問題集・ロングマン重複登場	5回以上登場	レベル1 (1-1000)
	4-2回登場	レベル2 (1001-2000)
	1回登場	レベル3 (2001-3000)
		レベル4 (3001-8000と登場せず)

(表7) 新公式問題集にもロングマンにも登場した67種類263ヶ/381ヶの動詞
(新公式問題集頻度順)

動詞	新公式問題集頻度	ロングマン頻度	JACET8000リスト
be there	11	36	13
take	11	10	80
look	10	15	65
stand	10	11	253
walk	10	3	225
be adv.	8	76	13
park	8	7	710
place	8	1	129
put	8	2	131
set	8	4	240
be adj.	7	44	13
hang	7	2	1141
hold	7	7	256
line	7	1	280
write	6	2	216
build	5	1	556
carry	5	4	274
close	5	5	231
leave	5	2	175
read	5	5	233
turn	5	1	161
work	5	8	87
clean	4	3	676
eat	4	4	312

fill	4	4	611
get	4	3	57
paint	4	1	901
serve	4	4	620
talk	4	1	134
wait	4	4	301
wash	4	1	992
cook	3	1	1234
cover	3	5	432
drive	3	2	537
examine	3	1	1063
face	3	3	182
have	3	16	15
seat	3	1	690
sit	3	11	258
use	3	6	78
assemble	2	1	3883
be there -ing	2	1	13
buy	2	3	362
cut	2	3	353
go	2	2	40
pack	2	1	1228
pay	2	1	344
polish	2	1	3484
prepare	2	3	673
shop	2	2	488
watch	2	1	267
water	2	1	197
be n.	1	8	13
be there -ed	1	3	13
board	1	1	988
display	1	1	1375
fall	1	2	328
grow	1	2	324

TOEIC L&Rテストに登場する動詞と名詞に関する考察

hand	1	1	138
meet	1	2	347
move	1	1	184
order	1	1	341
sell	1	1	641
shake	1	1	951
speak	1	2	269
wave	1	1	998
wear	1	16	558
のべ登場回数	263	381	
67種類の動詞			

頻度	JACET8000リスト
5回以上登場	レベル1 (1-1000)
4 - 2回登場	レベル2 (1001-2000)
1回登場	レベル3 (2001-3000)
	レベル4 (3001-8000と登場せず)

(表8) 新公式問題集にもロングマンにも登場した129種類562/478ヶの名詞
(新公式問題集頻度順)

名詞	新公式問題集頻度	ロングマン頻度	JACET8000リスト
man	58	33	88
woman	52	4	181
people	33	3	46
table	21	34	394
wall	12	12	522
window	11	14	418
chair	10	10	738
street	10	11	448
box	9	6	671
water	9	7	197
worker	9	1	688
boat	8	1	797

desk	8	9	1263
door	8	6	261
food	8	6	287
side	8	1	245
book	7	7	215
document	7	1	2013
paper	7	5	358
car	6	13	241
floor	6	2	633
picture	6	2	355
piece	6	3	482
shelf	6	6	2394
tree	6	4	307
cup	5	4	745
customer	5	7	1157
item	5	1	1262
line	5	3	280
meal	5	2	997
office	5	8	376
restaurant	5	8	1043
traffic	5	1	1328
bench	4	5	2026
board	4	4	988
cabinet	4	4	3118
clock	4	2	1472
computer	4	14	416
counter	4	1	1910
equipment	4	2	1568
front	4	8	540
phone	4	2	816
plant	4	3	403
row	4	2	1411
tablecloth	4	3	登場せず
tool	4	5	1409

TOEIC L&Rテストに登場する動詞と名詞に関する考察

umbrella	4	2	2830
waiter	4	5	2801
clothes	3	1	3043
construction	3	1	3071
flower	3	2	822
furniture	3	1	2333
garden	3	3	632
ground	3	1	421
hand	3	7	138
hat	3	4	1360
light	3	1	276
microphone	3	1	5419
pot	3	1	1881
room	3	4	218
step	3	1	469
store	3	4	756
bag	2	1	865
bottle	2	7	1027
corner	2	5	870
drawer	2	3	2764
group	2	1	220
jacket	2	3	1751
lamp	2	5	2568
leaf	2	2	1743
mirror	2	6	1655
notebook	2	1	4783
painting	2	2	841
platform	2	1	1962
sheet	2	1	1303
shopper	2	1	6596
shore	2	1	1966
sink	2	1	1645
site	2	1	1154
stage	2	2	586

stone	2	2	677
top	2	2	426
train	2	2	391
watch	2	1	267
audience	1	1	1000
belt	1	2	2175
boot	1	1	1880
briefcase	1	1	7467
bush	1	4	2376
business	1	2	373
cap	1	3	1959
city	1	1	239
clothing	1	1	2095
conference	1	1	1863
cook	1	1	1234
curtain	1	4	1927
dessert	1	1	7242
dock	1	2	3969
engine	1	1	1338
ferry	1	1	4642
field	1	2	472
foot	1	1	636
glass	1	1	624
grass	1	11	1310
grocery	1	1	7647
hall	1	2	1121
house	1	20	163
lot	1	5	229
luggage	1	1	6316
meeting	1	1	580
mobile	1	1	4450
movie	1	1	742
number	1	1	204
pin	1	1	2200

TOEIC L&Rテストに登場する動詞と名詞に関する考察

plate	1	2	1123
rain	1	1	719
roof	1	1	1592
shirt	1	2	1826
sign	1	3	402
size	1	1	640
suitcase	1	1	5684
telephone	1	1	812
tie	1	4	1014
time	1	1	49
tower	1	1	1710
wave	1	1	798
whiteboard	1	1	登場せず
wood	1	1	850
work	1	1	87
のべ登場回数	562	478	
129種類の名詞			

頻度	JACET8000リスト
5回以上登場	レベル1 (1-1000)
4-2回登場	レベル2 (1001-2000)
1回登場	レベル3 (2001-3000)
	レベル4 (3001-8000と登場せず)

(表9) 新公式問題集に登場し、ロングマンに登場しなかった動詞
(頻度順)

動詞	新公式問題集 頻度	JACET8000 リスト	動詞	新公式問題集 頻度	JACET8000 リスト
arrange	10	1466	cross	6	736
stack	8	3980	adjust	6	2275
remove	7	1036	try	5	124
lean	7	1429	play	5	156
enter	6	550	plant	5	403

動詞	新公式問題集 頻度	JACET8000 リスト	動詞	新公式問題集 頻度	JACET8000 リスト
pick	5	508	follow	1	309
ride	5	930	clear	1	339
repair	5	1811	send	1	437
fold	5	2183	share	1	444
open	4	198	listen	1	476
pull	4	510	position	1	594
push	4	691	press	1	852
sweep	4	3305	spread	1	897
point	3	237	exchange	1	899
lie	3	406	dry	1	923
climb	3	917	lift	1	962
gather	3	1105	direct	1	1004
roll	3	1124	collect	1	1056
install	3	5576	replace	1	1204
show	2	143	camp	1	1243
reach	2	320	connect	1	1386
pass	2	348	row	1	1411
rest	2	431	mix	1	1427
step	2	469	lock	1	1442
fish	2	551	extend	1	1492
sort	2	614	select	1	1494
throw	2	704	pour	1	1522
separate	2	922	crash	1	1536
tie	2	1014	tape	1	1600
empty	2	1030	deliver	1	1632
swim	2	1580	concentrate	1	1638
transport	2	1872	wheel	1	1719
attach	2	1885	organize	1	1793
pile	2	1980	brush	1	1822
do	1	20	file	1	2005
make	1	64	shade	1	2023
stop	1	228	wrap	1	2049

TOEIC L&Rテストに登場する動詞と名詞に関する考察

動詞	新公式問題集 頻度	JACET8000 リスト	動詞	新公式問題集 頻度	JACET8000 リスト
greet	1	2176	hammer	1	4581
load	1	2180	haul	1	4704
button	1	2251	straighten	1	4896
rope	1	2279	sip	1	5124
shelter	1	2324	retrieve	1	5135
lower	1	2400	prop	1	5599
carpet	1	2434	coil	1	5825
grasp	1	2670	unlock	1	6214
scatter	1	2785	scrub	1	6484
suspend	1	2891	unload	1	6793
secure	1	3044	pave	1	6936
distribute	1	3361	staple	1	7527
situate	1	3750	browse	1	登場せず
exhibit	1	3782	rearrange	1	登場せず
insert	1	3800	remodel	1	登場せず
tighten	1	3947	unplug	1	登場せず
dock	1	3969	wring	1	登場せず
tidy	1	4069		221ヶ	
trim	1	4395		221ヶ	
splash	1	4441			

(表10) 新公式問題集に登場し、ロングマンには登場しなかった名詞
(頻度順)

名詞	新公式問題集 頻度	JACET8000 リスト	名詞	新公式問題集 頻度	JACET8000 リスト
building	11	492	cheese	5	1787
vehicle*	10	1930	truck	5	1861
bed	6	464	cart	5	4745
pile*	6	1980	motorcycle	5	7885
shop	5	488	railing*	5	登場せず
seat*	5	690	display*	4	1375
bridge	5	1163	dish	4	1569

名詞	新公式問題集 頻度	JACET8000 リスト	名詞	新公式問題集 頻度	JACET8000 リスト
fence*	4	2098	stair	2	1637
goods	4	登場せず	lecture	2	1908
area	3	284	laboratory	2	1961
road	3	439	file	2	2005
fish	3	551	bike	2	2179
pair	3	1069	garage	2	2350
screen	3	1305	wire	2	2407
pool	3	1511	brick	2	2517
bicycle	3	2353	tent	2	2567
ladder*	3	2752	deck	2	2610
tire	3	4649	sandwich	2	2612
pedestrian*	3	5380	pencil	2	2640
intersection*	3	登場せず	van	2	2654
merchandise*	3	登場せず	tray	2	2708
sunglass	3	登場せず	cupboard	2	2882
walkway*	3	登場せず	label	2	3154
boy	2	196	performer	2	4673
game	2	286	pillow	2	4719
sea	2	490	fixture	2	5480
machine	2	557	rack	2	5631
rock	2	658	scarf	2	5944
material	2	716	cyclist	2	6081
bus	2	819	handbag	2	6099
kitchen	2	843	patio	2	7475
shoe	2	1178	bicyclist	2	登場せず
beach	2	1187	binder	2	登場せず
net	2	1384	bookshelf	2	登場せず
unit	2	1421	closet	2	登場せず
gate	2	1428	folder	2	登場せず
scale	2	1474	notepad	2	登場せず
tourist	2	1576	swimmer	2	登場せず
crew	2	1587	can	1	36

TOEIC L&Rテストに登場する動詞と名詞に関する考察

名詞	新公式問題集 頻度	JACET8000 リスト	名詞	新公式問題集 頻度	JACET8000 リスト
form	1	264	photograph	1	1151
case	1	322	lake	1	1177
letter	1	323	handle	1	1180
earth	1	331	structure	1	1235
control	1	338	fan	1	1248
music	1	427	plastic	1	1306
break	1	477	sail	1	1312
report	1	479	bite	1	1346
service	1	502	content	1	1387
evening	1	504	coat	1	1425
drink	1	518	instrument	1	1458
ship	1	610	bread	1	1523
note	1	637	studio	1	1538
river	1	646	bowl	1	1560
page	1	667	ocean	1	1562
card	1	698	tape	1	1600
message	1	763	package	1	1629
forest	1	764	panel	1	1647
shape	1	777	tap	1	1691
direction	1	829	border	1	1714
shoulder	1	867	height	1	1722
series	1	884	repair	1	1811
officer	1	887	text	1	1890
paint	1	901	cloth	1	1938
crowd	1	942	traveler	1	1976
farm	1	946	classroom	1	2021
conversation	1	948	shade	1	2023
supply	1	957	piano	1	2032
variety	1	970	tooth	1	2045
weather	1	1016	apartment	1	2081
copy	1	1077	column	1	2105
magazine	1	1134	frame	1	2107

名詞	新公式問題集 頻度	JACET8000 リスト	名詞	新公式問題集 頻度	JACET8000 リスト
tunnel	1	2127	staircase	1	4750
tank	1	2164	stool	1	4817
supermarket	1	2351	pottery	1	4973
manual	1	2364	jar	1	5208
presentation	1	2370	weed	1	5379
carpet	1	2434	dentist	1	5466
basket	1	2503	pier	1	5515
lane	1	2542	excavation	1	5656
salad	1	2569	stove	1	5758
reflection	1	2679	dam	1	6069
pan	1	2760	cone	1	6141
container	1	2770	mattress	1	6321
hook	1	2797	appliance	1	6368
pavement	1	2816	waterfall	1	6678
doorway	1	2852	belonging	1	6850
poster	1	2936	shopkeeper	1	6892
airplane	1	2964	freezer	1	6895
lawn	1	2975	paperwork	1	6975
fisherman	1	2998	refrigerator	1	7477
resident	1	3094	plumbing	1	7874
terminal	1	3437	hose	1	7932
cable	1	3562	bedding	1	登場せず
server	1	3587	beverage	1	登場せず
printer	1	3682	carton	1	登場せず
sleeve	1	3879	conveyor	1	登場せず
stack	1	3980	diner	1	登場せず
lid	1	4172	handrail	1	登場せず
warehouse	1	4348	keypad	1	登場せず
arch	1	4390	lamppost	1	登場せず
hammer	1	4581	motorbike	1	登場せず
balcony	1	4624	motorcyclist	1	登場せず
lobby	1	4650	necktie	1	登場せず

TOEIC L&Rテストに登場する動詞と名詞に関する考察

名詞	新公式問題集 頻度	JACET8000 リスト	名詞	新公式問題集 頻度	JACET8000 リスト
paintbrush	1	登場せず	stepladder	1	登場せず
passageway	1	登場せず	tugboat	1	登場せず
pitcher	1	登場せず	utensil	1	登場せず
podium	1	登場せず	vase	1	登場せず
sailboat	1	登場せず	washcloth	1	
shorefront	1	登場せず	のべ登場回数：365		

頻度	JACET8000リスト
5回以上登場	レベル1 (1-1000)
4 - 2回登場	レベル2 (1001-2000)
1回登場	レベル3 (2001-3000)
	レベル4 (3001-8000と登場せず)

* 700例文集で最重要語句リストに含まれていた語 (11語)